

帯広の森だより

第4号

3月6日は、二十四節気の「啓蟄（けいちつ）」です。大地が暖まり、土のなかで冬眠していた虫たちが目を覚ましてモゾモゾと出てくる時期だそうです。帯広ではまだまだ先。待ちどおしいですね、春が。

市民の皆さんと帯広の森とをつなぐ「帯広の森だより」第4号です。

2007年3月

【発行】

帯広市緑化環境部公園と花の課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1

Tel: 0155-24-4111 Fax: 0155-23-0158

E-mail: park@city.obihiro.hokkaido.jp

HP: <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp>

帯広の森は、学びと文化を育む！

帯広市教育委員会が主催する「市民大学講座」は、皆さんが地域づくりについて一緒に考える場として「地域学講座」、「地域社会学講座」、「地域づくり学講座」、「特別講座」の4つの体系により開講しています。

帯広・十勝の地域づくり・人づくりに、帯広の森が果たす役割や可能性は無視できない！ということで、2006年度には、秋と冬に、「帯広の森を楽しむ」と題して2回の講座が開講されました。

昨年10月には、森の中で、シラカンバの間伐材を利用して動物のオブジェをつくったり、秋の森の景色を眺めながら俳句を詠んだりしました。ここで詠まれた36句の中から、いくつかの秀作（こちらの独断で選びました）を右に紹介します。

また、去る2月には、帯広の森コミュニティセンターで、森と文学との関わりについて学習しました。

印象的だったのは、世界各国や日本の昔話や童話、伝説などに、かなりの割合で森や樹木が用いられているということ。たしかに、そうですね。ヨーロッパの童話では狼や魔法使いの住む森、日本の昔話でも奥深い山が簡単に連想されます。昔は、生活のうえで、あるいは情緒や心情とのかかわりで、森が人々にとって切り離せない存在だったということです。

日常生活の中で自然に帯広の森とふれあう人々の姿というのは、かの吉村元市長が思い描いた帯広の森の将来像そのものです。これが発展して、遠い遠い将来に、帯広・十勝で、帯広の森を舞台にした童話や昔話が語られるようになると、面白いですね！そんな地域の文化や風土を、帯広の森で育てていきたいものです。

「市民大学講座」に関する問い合わせは、帯広市教育委員会生涯学習課（とかちプラザ内、電話22-7915）まで。

【秋の帯広の森で一句...】

帯広の森のぶどうも染まりゆく
白樺で作る木馬や森の中
伐りし木に生命ふきこむ秋の森
落ち葉踏み学んで遊ぶ夢の森
白樺にトンボが散歩秋の空

森の少年隊が、新隊員を募集しています

森の少年隊は、帯広の森の造成に伴って1977年に創設されたボランティア団体で、2007年度で31年目を迎えます。帯広の森を中心として、自然の大切さを楽しく学んでいます。

募集対象は、2007年4月現在で小学5年生になる帯広市内在住の児童で、定員は20名程度、隊員となる期間は小学校卒業までの2年間です。

3月18日（日）午前10時より、帯広百年記念館にて、募集説明会を行います。入隊申し込みは、募集チラシに付いているハガキか、募集説明会当日に会場にて受け付けます（募集チラシは、市役所、各小学校、とかちプラザ、児童会館、百年記念館で配布しています）

募集しめきりは、3月31日までです。ぜひ、ご応募を！！

【森の少年隊HP：<http://www.morinen.jp/>】



森づくりに関する行事・活動のお知らせ(2007年3~4月ごろ)

行事予定は随時更新しています。詳しくは、市公園と花の課(Tel: 24-4111 内線 1842)まで。

日時	行事・活動	場所	対象者	内容
2/26(月) ~3/2(金)	帯広・十勝の森づくり活動 紹介パネル展	帯広市役所 1階市民ホール	どなたでも	帯広・十勝で森づくりに取り組む団体の活動状況などをPR。十勝支庁と帯広市の主催。
3/10(土) 9:00~	森の回廊@十勝 間伐&森の香水づくり	記念の森(南7線) 苗圃(南9線)	どなたでも	間伐したトドマツの葉から、精油(アロマオイル?)の抽出を試みます。結果やいかに?
3/18(日) 9:00~	エゾリスの会 里山をつくろうプロジェクト	未定	どなたでも	2007年度の作業計画を話し合います。会の活動に関心のある方は、どうぞご参加ください。
3/18(日) 10:00~	森の少年隊 新隊員募集説明会	帯広百年記念館 (緑ヶ丘公園内)	市内の 新小学5年生	2007年度の新隊員募集に関する説明会です。活動内容などを説明します。
4/15(日) 9:00~	エゾリスの会 里山をつくろうプロジェクト	運動公園PG場 北東側(西21南6)	どなたでも	活動区域周辺のごみ拾いと、間伐材でキノコの「ほだ木」づくり。要申込、参加費100円~。
4/29(祝) 10:00~	森の少年隊 2007年度入隊式	帯広百年記念館	(隊員のみ)	新隊員を迎え、いよいよ本格的な活動のスタートです。時間は変更になる場合があります

冬ならではの楽しみ方がある、帯広の森

雪はまだ残っていますが、晴れた日の日差しはだんだん春らしくなってきましたね。2月下旬のある晴れた日の朝に、帯広の森のなかを歩いてみました。

雪の上には、動物たちの足跡がたくさん。「！」マークがふたつ並んだような足跡は、エゾリスでしょうか。足跡が直線状に並んでいるのは、キツネ? 足跡の主を想像するのも楽しいですね。詳しい人になると、足跡をじっと観察して、「獲物に向かって走り出した」「つまづいた」など、足跡の主たちのちょっとした日常のドラマをうかがい知ることができるそうです。

森のなかでクロスカントリーを楽しんでいる人にもたくさん出会えます。帯広の森では、冬の間、南6線から南9線までの間に、「歩くスキー」のコースがつけられています。市街に近いので気軽に楽しめますね。



冬は広葉樹の枝ぶりを観察するのも都合の良い季節です。がっしりとして力強い感じのカシワ、堂々とした感じのハルニレ、スマートな感じのヤチダモ、まっすぐな幹から横へ伸びる枝が「コート掛け」みたいなハンノキ・・・などと、自分なりの表現をしてみても面白いですね。

樹木の枝先に視線を近づけると、冬芽がだんだんふくらんできているのがわかります。このため、とくにいまごろでは、シラカンバやダケカンバなどを遠目から眺めると、枝先のあたりが薄い紅紫色に色づいてきていて、幹の白さがいっそう引き立ちます。

冬の森はどことなく近寄りづらい感じがありますが、冬ならではの楽しみ方もたくさんあります。ちょっと足を運んで、自分なりの楽しみ方を探してみたいはいかがですか?



帯広市は「第58回全国植樹祭」を応援しています!

2007年6月24日(日)に、苫小牧東部地域において
『第58回全国植樹祭』が開催されます

テーマ:「明日へ 未来へ 北の大地の森づくり」



明日へ 未来へ 北の大地の森づくり
第58回全国植樹祭
2007 Hokkaido

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zsj/index.htm>